

第 35 回 日本公民教育学会全国研究大会（北海道大会）のご案内
（第二次案内）

大会テーマ「変化する社会に必要な資質・能力を育む公民教育の在り方」

新緑の候、会員の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

本大会におきましては、大会テーマを「変化する社会に必要な資質・能力を育む公民教育の在り方」といたします。

社会の変化は一層激しくなっており、経済ではグローバル化の行き詰まりや格差拡大の問題の顕在化、政治では独裁（権威主義）国家の台頭や各国における両極政党の躍進、倫理では SNS 社会において主体的によりよく生きる人間としての在り方生き方の模索などが大きな課題となっています。

本大会の開催地である北海道は、人口減少・少子高齢の課題先進地として、地域の持続可能性の検討、ウェルビーイングの追求、エージェンシーの発揮などが、喫緊の課題となっています。こうした中で「平和で民主的な国家・社会の有為な形成者を育む」ためには、公民教育の果たす役割が一層重要になっており、未来を担う子どもたちに必要な資質・能力を具現化することが求められています。

そのため、本研究大会では VUCA の時代を生きる子どもたちに必要な公民教育の在り方について、参加者の皆様とともに考える場にしたいと思います。多くのご参加の申し込みをいただき、北海道の地にお越しいただければ幸いです。よろしくお願い申し上げます。

2025 年 5 月吉日

日本公民教育学会会長 唐 木 清 志
第 35 回大会実行委員会委員長 堂 徳 将 人

記

1. 期 日 2025 年 6 月 29 日（日）
2. 会 場 北海商科大学（北海道札幌市豊平区豊平 6 条 6 丁目 10 番）
3. 主 催 日本公民教育学会
4. 後 援 学校法人北海学園北海商科大学、北海道教育委員会、札幌市教育委員会
北海道高等学校長協会、北海道公民教育学会

5. 日 程

9:00	9:30	12:00	12:10	12:55	13:00	13:50	14:00	14:30	16:30
受付	自由研究発表		理事会		総会		基調講演		シンポジウム

《自由研究発表》 9:30~12:00

第1分科会 (2401 教室)

司会：吉村功太郎（宮崎大学）・加納 隆徳（秋田大学）

- (1) 9:30~10:00
刑事模擬裁判において合理的意義を考えさせる小学校社会科の単元開発
ー刑法教材化を通じてー
宮本あゆは（岡山大学大学院）
- (2) 10:00~10:30
「対立をこえる」力を育成する「公共」のカリキュラム開発
阿部 哲久（広島大学附属中・高等学校）
- (3) 10:30~11:00
社会的分断の緩和をめざした論争問題学習の授業構成原理
ーNational Issues Forums の再評価ー
植原 督詞（群馬県立太田東高等学校／筑波大学大学院）
- (4) 11:00~11:30
対立を解消する力を養う中学校公民的分野の授業実践
ーメディアーションを活用してー
寺本 誠（お茶の水女子大学附属中学校）
- (5) 11:30~12:00
シンガポール社会科における法的紛争解決
ー教科書“Resolving Conflict and Building Peace”の分析からー
小貫 篤（埼玉大学）

第2分科会 (2402 教室)

司会：木村 勝彦（茨城大学）・中原 朋生（川崎医療福祉大学）

- (1) 9:30~10:00
持続可能な社会の形成者育成を目指す社会科授業構成
ー持続可能な小豆島の虫送りを事例にー
神野 幸隆（国土舘大学）
- (2) 10:00~10:30
社会科教育の専門性育成
ー小学校6年生の公民教育の実践による市民性育成を意識した取組ー
金田 泰秀（滋賀県守山市立物部小学校／東京学芸大学連
合大学院）
- (3) 10:30~11:00
主体的に社会参画する態度を見据えた小学校社会科授業の在り方
柳 圭一（千葉県浦安市立東野小学校）
- (4) 11:00~11:30
コロナ禍における全国一斉休校の是非を論争する小学校社会科の実践
ー子どもの権利を視点としてー
片山 元裕（お茶の水女子大学附属小学校）
- (5) 11:30~12:00
小学校社会科授業における「問い直し」の意義と課題
ーガート・ビースタの教育論と附属名古屋小学校の実践の分析を通してー
真島 聖子（愛知教育大学）

第3分科会 (2403 教室)

司会：磯山 恭子（国立教育政策研究所）・井上 奈穂（鳴門教育大学）

- (1) 9:30～10:00
高等学校公民科における政策立案学習の授業開発研究
－社会的課題解決力の育成に向けて－
岡部 純一（筑波大学大学院）
- (2) 10:00～10:30
高等学校公民科「公共」における「社会的な見方・考え方」を働かせる授業の開発
－プラトン『ポリティコス（政治家）』の教材化と授業の考察を中心に－
佐藤 克宣（北海道札幌南高等学校）
- (3) 10:30～11:00
高等学校公民科における熟議の評価指標作成の試み
大脇 和志（お茶の水女子大学）
菊島 晶子（山梨県立都留高等学校）
- (4) 11:00～11:30
公民科教育の実践上の課題と探究的学びを中心に据えた教育実践
－奈良県立大学附属高等学校探究科の取組を通して－
奥田 智（日本大学）
石井 宏典（奈良県立大学）
- (5) 11:30～12:00
北海道の地域課題と「公共」の「探究」
－『高校生と探究したい「北海道の地域課題」』検討による「軸」の模索－
前田 輪音（北海道教育大学）

第4分科会 (2404 教室)

司会：栗原 久（元東洋大学）・田村 徳至（信州大学）

- (1) 9:30～10:00
不確実性を前提とした金融経済教育－信頼構築を通じた市民性の育成－
大塚 雅之（大阪府立三国丘高等学校）
- (2) 10:00～10:30
中等教育における起業家教育の是非
相川 清（九州大学大学院）
- (3) 10:30～11:00
地域公共交通を活用した授業開発実践
－中学生の地域に対する認識はどのように変化したか－
山田 一貴（埼玉県立川口高等学校）
米田美由紀（沖縄県立八重山農林高等学校）
八木沢朱椋（上越教育大学大学院）
- (4) 11:00～11:30
これからの経済のあり方について議論する授業の開発と実践
－ランキングの手法を用いて－
渡部 裕司（横浜国立大学教育学部附属鎌倉中学校）
- (5) 11:30～12:00
アイヌ民族の格差問題に関する教授内容研究
－米国経済教育の先住民族の取扱いを手がかりに－
山崎 辰也（北海道津別高等学校）

第5分科会 (2305 教室)

司会：坪田 益美（東北学院大学）・川口 広美（広島大学）

- (1) 9:30～10:00
社会参画の視点に基づく多文化協働学習の研究
小谷 勇人（埼玉県春日部市立武里中学校／筑波大学大学院）
- (2) 10:00～10:30
米国の女性史に関するデジタル教材リソースの基礎的研究
－オンライン空間での学びの多様化と国際化に焦点を当てて－
福田 喜彦（兵庫教育大学）
- (3) 10:30～11:00
正義志向の市民を育成する環境教育プログラムの構成
－カリフォルニア州“seeds to solutions”を事例として－
押井 那歩（東京学芸大学）
- (4) 11:00～11:30
民主的な価値を涵養する教育の模索
－欧州の取り組みに着目して－
五十嵐卓司（帝京大学）
- (5) 11:30～12:00
オーストラリアの初等・前期中等教育の終了段階における市民性教育の内容と達成度について
－国家評価プログラム「公民とシティズンシップ」(NAP-CC)の分析を通して－
松井 克行（西九州大学）

第6分科会 (2306 教室)

司会：峯 明秀（大阪教育大学）・呂 光暁（仙台白百合女子大学）

- (1) 9:30～10:00
NIEを活用したメディアリテラシー実践研究
中平 一義（東洋大学）
野寄 雄太（北海道教育大学函館校）
山田 一貴（埼玉県立川口高等学校）
米田美由紀（沖縄県立八重山農林高等学校）
- (2) 10:00～10:30
性の問題を議論する公民科授業をどのように「翻案」したか
－「生理休暇」の授業化についての省察を通して－
野呂 航平（広島大学大学院）
別木 萌果（東京都立小川高等学校）
- (3) 10:30～11:00
中学校社会科公民的分野における教師の実践的知識とその形成要因
－初任教師と中堅教師の授業づくりの比較を通して－
XIE CONG（筑波大学大学院）
（謝 聰）
- (4) 11:00～11:30
公民科における国際連合をどう教えるか
西尾 理（都留文科大学）
- (5) 11:30～12:00
論争問題学習で学習者の価値観形成はどのように行われるか
－中学校社会科小単元「未成年のSNS使用を規制すべきか」の開発を通して－
桑原 敏典（岡山大学）

第7分科会 (2203 教室)

司会：樋口 雅夫（玉川大学）・施 光恒（九州大学）

- (1) 9:30～10:00
米国の境界教育学実践において「越境」とはどのように捉えられているか
眞所 佳代（横浜市立横浜商業高等学校）
- (2) 10:00～10:30
フランスにおける公民教育と私学助成
－イスラム系私立学校に対する助成金停止事件からの考察－
橋本 一雄（桃山学院大学）
- (3) 10:30～11:00
仮説実験授業と政治的中立性－社会の科学の授業書の分析を中心として－
中尾 浩章（兵庫教育大学大学院）
- (4) 11:00～11:30
子どもの政治意識の規定要因を探る
－親の行動と子ども自身の経験をもとに－
市島 宗典（白鷗大学）
- (5) 11:30～12:00
SNS が社会におよぼす影響－政治の事例を中心として－
保立 雅紀（愛知教育大学）

12:10～12:55 (1号館8階 開発政策研究所)

理事会 ※理事のみ

13:00～13:50 (多目的ホール)

総会 ※会員のみ

《基調講演》 14:00～14:30

(多目的ホール)

「ネットメディアの健全性における新聞の役割」

北海道新聞社代表取締役社長 堀井 友二 氏

《シンポジウム》 14:30～16:30

シンポジウム (多目的ホール)

「情報通信技術の変容に応じたメディアリテラシーを育む公民教育を考える」

コーディネーター・司会 堂徳 将人(北海商科大学) 桐谷 正信(埼玉大学)

指定討論者 川崎 誠司(東京学芸大学)

今日は、急激な技術革新や価値観の多様化などが進行し、まさに激変する社会の様相を呈しています。とりわけ、情報通信技術や AI をはじめとした科学技術の発展は、政治・経済のしくみや倫理など社会と個人の有り様を大きく変貌させようとしています。

この数年の通信端末や SNS 等の爆発的な普及は、人々の生活に利便性をもたらし、個人の考えや発言を瞬時に拡げ、社会的な関心を高めることを可能にした一方で、拡散された情報の事実確認の困難さや誹謗中傷などの負の側面が大きな社会問題となっています。

昨年は SNS がアメリカ大統領をはじめとした世界各国の選挙結果を左右させたのではないかと、我が国にあっても国政選挙はもとより、東京や兵庫の知事選挙などにも大きな影響を与えたと指摘されており、公職選挙法改正の議論も行われています。

情報通信技術の変容は、活版印刷の発明・普及以来の転換期の様相を呈していると言ってしまうことはありません。こうした社会状況にあって、新旧メディアとの向き合い方や、それらを活用する力を育むことは、公民教育にとって喫緊の課題であると言えます。

本シンポジウムでは、激変する社会に生きて未来を拓く子どもたちに必要な「メディアリテラシー」の資質・能力をどのように育むかを焦点に「公民教育の改善・充実の方策」を参加者の皆さまとともに考察したいと思います。

現代的なメディアリテラシーと公民教育

中平 一義 (東洋大学)

SNS 社会の光と影を探究する「公共」の授業づくり

伊藤 航 (北海道札幌北高等学校)

6. 参加費

事前納入(参加費のみ) : 2,500 円

事前納入(参加費, 弁当・飲み物含む) : 3,600 円

当日納入(参加費のみ) : 3,000 円 (弁当の注文は事前納入のみとします) ※現金のみ

7. 大会参加申し込み(参加費事前納入)締め切り: 2025 年 6 月 13 日(金)

大会 HP にアクセスいただき、お申し込みください。または、以下の「参加費納入サイト(右:二次元コード)」にアクセスいただき、必要事項を記入後、クレジットカードをご使用の上、参加費をお支払いください。

※参加費のお支払いをもって、参加申込完了となります。フォーム記入のみでは参加できません。

※郵送・電話での申し込みはできません。フォームがご利用できない、クレジットカードでのお支払いができない方は、メールにて大会実行委員会にご相談ください。

※当日の参加申込も可能ですが、円滑な受付のためにご協力をお願いいたします。



https://app.payvent.net/embedded_forms/show/67b2981a195b2626432a2642

8. 今後の日程

- ・参加費事前納入・大会参加申し込み締め切り 2025 年 6 月 13 日（金）
- ・大会当日 2025 年 6 月 29 日（日）

9. 注意点

- ・当日は、会員の皆様の使用可能な学内の Wi-Fi 環境はございません。
- ・領収書は、各自で“payvent”での発行をお願いいたします。

10. 昼食

- ・大会当日、大学生協食堂は営業しておりません。
（大学周辺にはコンビニエンスストアがございます）
- ・事前参加申し込み締め切り以降は、昼食の申し込みはできません。

11. お問い合わせ

日本公民教育学会第 35 回全国研究大会（北海道大会）実行委員会 山口 晴敬

北海商科大学 教職課程

〒062-8607 北海道札幌市豊平区豊平 6 条 6 丁目10番

大会メールアドレス：civicseducationhokkaido@gmail.com

（メールでのご連絡をお願いいたします）

日本公民教育学会第 35 回全国研究大会（北海道大会）

大会ホームページのご案内



<内容> 大会のお知らせ、各種申し込みフォーム等を掲載しています。

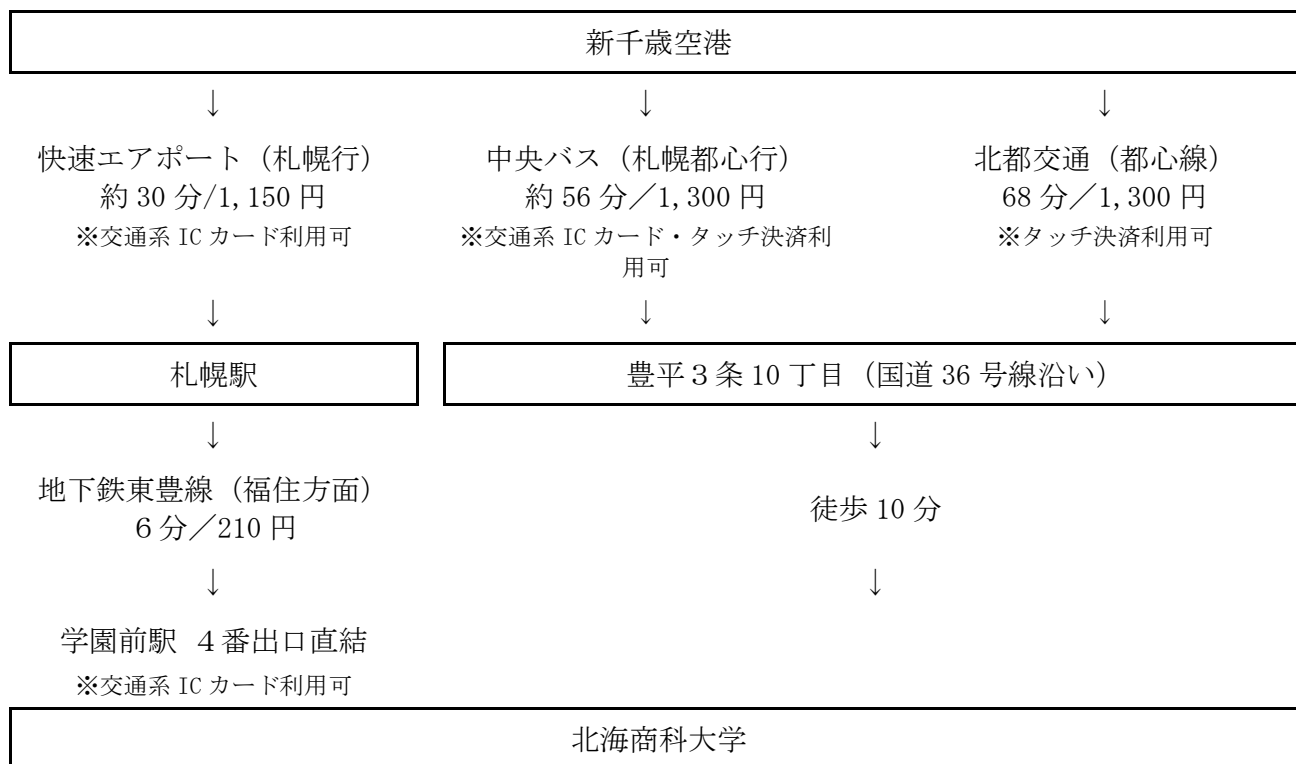
<URL> <https://ce-hokkaido.jpn.org/>

12. 会場アクセス

新千歳空港・札幌駅からお越しの場合

※地下鉄大通駅からも地下鉄東豊線福住方面にご乗車でお越しいただけます。

※学内駐車場は利用できませんので、公共交通機関のご利用をお願いします。



アクセスマップ

